

郡山市第7次総合計画

— 東北の鼓動 未来を奏でる 選ばれるまち 郡山 —

2026—2033

概要版

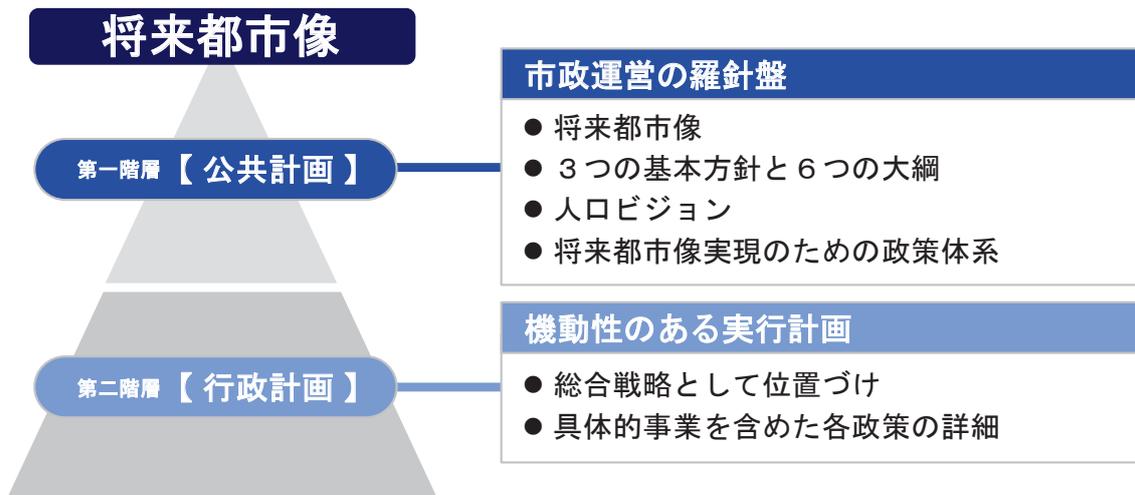
2026年3月

郡山市

総合計画とは

本計画は、郡山市のまちづくりにおける最上位計画として、市民・事業者・行政が共有すべき将来都市像とその実現に向けた方向性を示す羅針盤です。人口減少などの中長期的課題に対応するため、人口の将来展望を示す「人口ビジョン」と、重点的に取り組む施策・事業を示す「総合戦略」を組み込み、一体的に策定しています。

社会情勢の変化にも柔軟に対応しながら、実効性の高いまちづくりを進めていくための指針となっています。



総合計画の期間は、令和8（2026）年度を初年度とする令和15（2023）年度までの8年間とし、施策の立案・実行・効果検証までを一体的に進めます。

また、4年後に中間見直しを行うことで、市長任期との整合を図りつつ、社会経済情勢の変化や市民ニーズを的確に反映できる柔軟性も確保します。

年度	令和8	令和9	令和10	令和11	令和12	令和13	令和14	令和15
郡山市 第7次総合計画	← 8年間 →							
	⇄ 中間見直し							

東北の鼓動 未来を奏でる 選ばれるまち 郡山

郡山市は、安積開拓以来の開かれた気風と、多様性を受け入れる懐の深さによって、多くの人が集い、つながり、まちを創り、東北を代表する都市へと発展を続けてきました。

そして、これからも「選ばれるまち」であり続けるために、こども、若者、子育て世代、高齢者、障がいのある方まで、すべての市民が学び、働き、挑戦し、笑顔で暮らせる環境づくりを進めていきます。

「選ばれるまち」の合言葉とともに、市民一人ひとりが主役となり、それぞれの個性と可能性が輝く郡山を、未来を切り拓く世代とともに創り上げることが、私たちの目指す都市像です。



郡山市はこんなまち

郡山市のあゆみ

大正13 (1924)年	9月1日郡山町が小原田村を合併し市制を施行(戸数7,163戸、人口39,003人)
昭和39 (1964)年	常磐・郡山新産業都市指定
昭和57 (1982)年	東北新幹線開通
平成9 (1997)年	中核市に指定
平成20 (2008)年	音楽都市宣言
平成26 (2014)年	国立研究開発法人産業技術総合研究所 福島再生可能エネルギー研究所が開所
平成28 (2016)年	ふくしま医療機器開発支援センターが開所
平成31/令和元 (2019)年	こおりやま広域連携中枢都市圏の形成 SDGs未来都市に選定
令和6 (2024)年	市制施行100周年

— 東北第2の経済規模 —

宮城県仙台市に次ぐ東北第2の経済規模を誇る都市です。市町村民所得や製造品出荷額はいずれも東北上位に位置し、製造業・商業・サービス業が集積しています。特に、医療・健康関連産業においては、優れた医療機関が集積する全国有数の都市です。

本市は、福島県の「経済県都」、こおりやま広域圏の中心市として雇用や消費を支える重要な役割を担っています。



— 充実した交通網 —

福島県の中央に位置し、東北新幹線により郡山・東京駅が最短76分と首都圏に近く、南東北の交通結節点として高い交通利便性を有する都市です。さらに東北自動車道や磐越自動車道、主要国道が縦横に交差し、東日本のクロスポイントとして人流・物流の両面で広域的な活動を支えています。

— バランスの取れた産業 —

明治初期の安積開拓・安積疎水開さく事業を礎に、農業基盤を形成してきました。さらに疎水を活用した水力発電による工業の近代化が進みました。昭和39（1964）年の常磐・郡山地区新産業都市指定を契機として製造業や商業が集積し、現在の農業・工業・商業が相互に支え合う、バランスの取れた産業構造につながっています。

— 音楽都市こおりやま —

戦後の復興期に市民活動として音楽文化が芽生えました。その後、10万人コーラス運動や野外ロックコンサート開催など多様な音楽文化を重ね、平成20（2008）年に「音楽都市」を宣言しました。

近年も、小・中・高等学校における全国の合唱・合奏コンクールにおいて、幾度も優秀な成績を収めています。

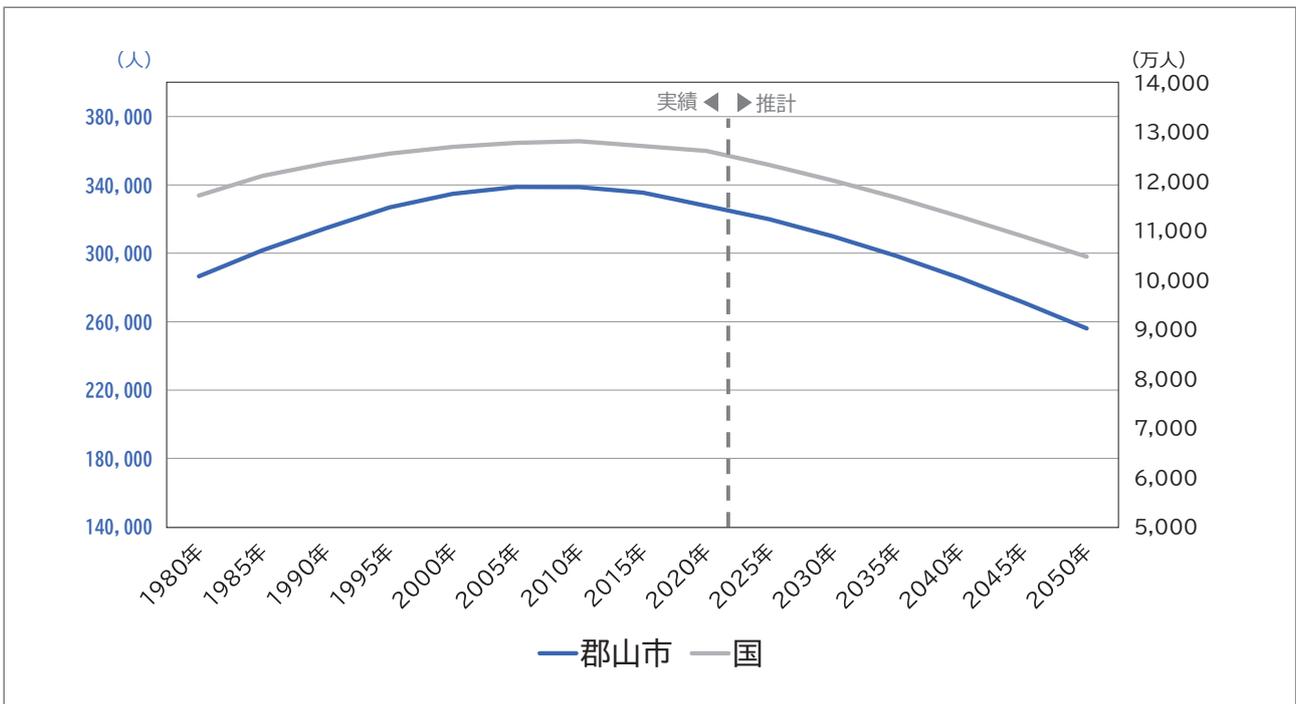


人口ビジョン

郡山市人口ビジョンは、本市における人口の現状分析・将来の見通しを踏まえ、本市が目指す方向性と人口の将来展望を検討するものです。

郡山市の人口は平成16（2004）年にピークを迎え、平成23（2011）年の東日本大震災後には激減し、その後、一定規模の回復が見られたものの、平成29（2017）年には再び転出超過に転じ、人口減少が加速しています。

今後もその傾向は続き、令和17（2035）年には人口が30万人を割り込み、令和22（2040）年には約28万5千人になると推計され、人口減少・少子高齢化の進展に伴い、人口構造も大きく変化すると見込まれます。



郡山市は、国の「まち・ひと・しごと創生法」が示す基本理念「まち（環境）、ひと（社会）、しごと（経済）」と整合を図り、地域社会の持続可能性を確保するため、3つの側面から総合的に取り組みます。

**まち
(環境)**

安心・安全で持続可能な都市環境の実現

**ひと
(社会)**

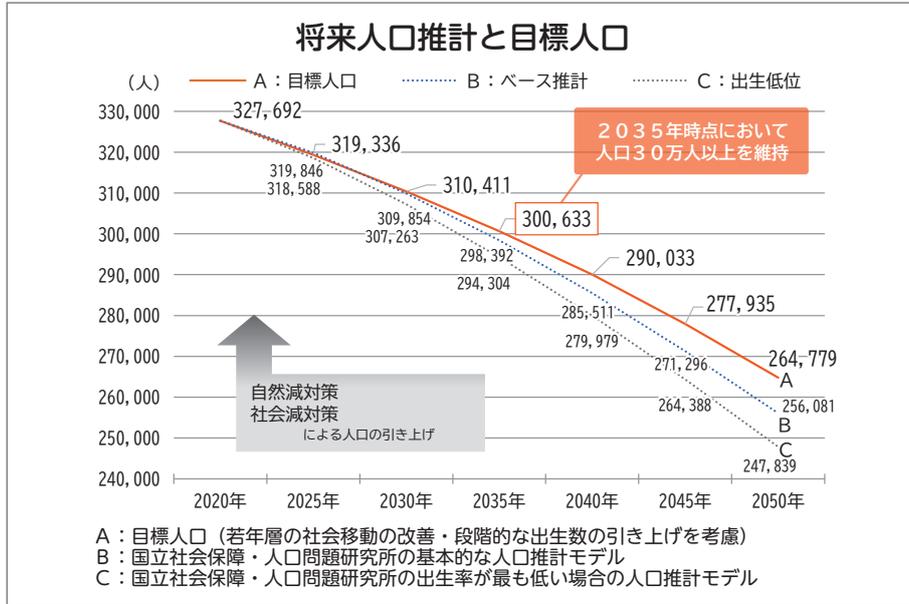
多様な人が活躍し誰もが幸福を実感できる社会

**しごと
(経済)**

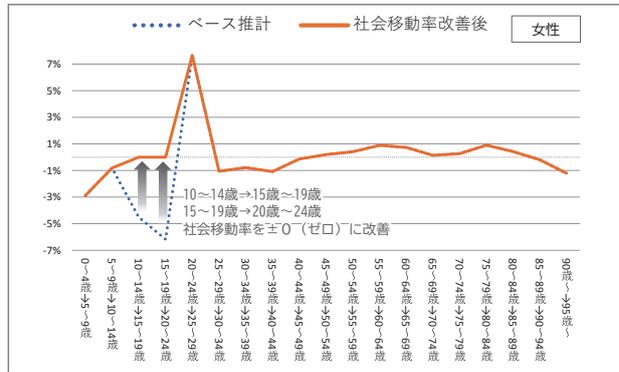
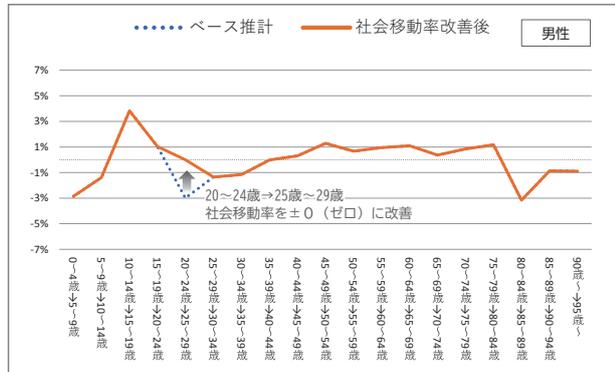
活力ある経済基盤と多様な雇用機会の創出

「令和17（2035）年時点で30万人以上」を目標人口とします。

- 令和7(2025)年から令和12(2030)年の若年層（男性20歳台前半、女性10歳台）社会移動率ゼロに改善
- 令和22（2040）年まで、段階的に合計特殊出生率を1.51に引き上げ

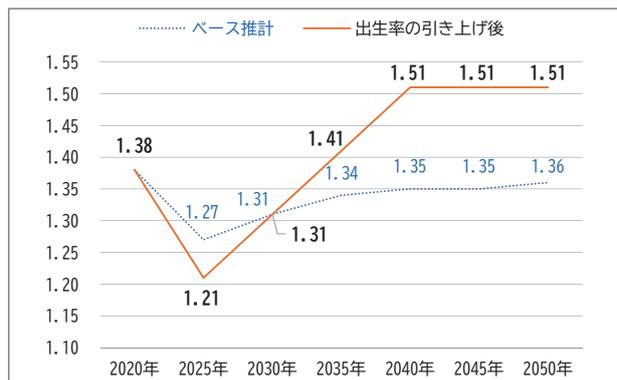


若年層に選ばれる魅力ある働き方や雇用の創出により、**社会移動率**を改善



結婚・出産・子育てへの 切れ目のない支援を通じた 暮らしの充実により

合計**特殊出生率**を改善



将来都市像の実現に向けて

基本方針

◆選ばれるまち

◆暮らしの充実・

大綱Ⅰ こども 教育

すべてのこどもが安心して成長できる環境と未来を担う教育の充実

政策1

出会い・結婚・妊娠・出産の希望をかなえる支援の充実

政策2

安心して子育てできる環境づくり

政策3

教育環境の充実と個別最適な学びの推進

政策4

誰もが自由に学べ、地域への愛着を育む地域教育・生涯学習の推進

大綱Ⅱ 産業 仕事

多様な産業の持続可能な成長と魅力ある仕事・雇用の創出による地域活力の向上

政策1

農林水産業の振興

政策2

多様な人材の活躍推進と持続可能な雇用環境の整備

政策3

地域資源や技術を生かした地場産業の振興と地域内経済循環の強化



大綱Ⅲ 交流 にぎわい 文化

人々が集い、交流するにぎわいの創出と誇りや愛着を持てる地域の育成

政策1

郡山市のポテンシャルを活かした人の流れの創出

政策2

観光振興と地域ブランドの確立による交流人口の創出

政策3

音楽・スポーツ・文化芸術の振興と歴史遺産の継承・活用



基盤的な取組

誰一人取り残されないSDGs

笑顔になれるまち

◆経済の活性化

大綱Ⅳ 健康 福祉 医療

すべての市民が生涯を通じて心身共に健康で安心して暮らせる社会の実現

政策1

どの世代も安心して暮らせる健康づくりの推進

政策2

誰もがいきいきと暮らせる福祉社会の形成

政策3

援助が必要な人を支える地域共生社会の実現

政策4

地域医療体制の維持・強化と医療アクセスの確保

大綱Ⅴ 防災 環境 社会基盤

災害に強く、快適な地域環境とインフラの整備

政策1

日常を安心して暮らせる安全なまちの形成

政策2

自然と調和した環境にやさしい循環型社会の構築

政策3

社会資本（インフラ）の計画的な維持更新



大綱Ⅵ 市民協働 行財政

市民とともに創る開かれた自治と持続可能な行政経営の確立

政策1

誰もが支え合い守られる共生・協働のまちづくり

政策2

デジタル化による生活利便性の向上と行政の効率化

政策3

次の100年を見据えた行財政運営



広め合う、高め合う、助け合う こおりやま広域圏

夕方になると、市内の企業やスタートアップオフィスでは、新しいアイデアを語り合う若者たちの姿があります。農業とITを結ぶ取組や、医療・健康関連の産業連携が進み、地元から新しい価値が次々と生まれています。駅前のカフェでは、大学生と企業経営者が未来のまちづくりを語り合っています。

「**経済の活性化**」は、挑戦が循環するまちへ。人・モノ・情報が郡山に集まり、地域全体が活力に満ちています。市内だけではなく、周辺市町村や企業との連携も進み、郡山を中心とした圏域全体が、共に成長する経済の舞台へと広がっています。農業や観光、医療、デジタル、AI技術が互いに結び合い、郡山の未来を力強く動かしています。

夜、帰り道の開成山公園では、ライトアップされた中で散歩する家族の笑顔がこぼれます。便利さだけでなく、心が温まる時間が流れています。

— 人が集まり、笑顔で暮らし、挑戦し続ける —
その重なりの中に、郡山の未来があります。



3つの基本方針がつくる未来の日常

朝、JR郡山駅前には明るいにぎわいに包まれています。再整備された西口広場には、学生や観光客、子育て世代、ビジネスパーソンの姿が行き交い、郡山を訪れる人、戻ってきた人、ここで新たに暮らし始めた人が自然に交わっています。

「**選ばれるまち**」は、人が集い、出会いが生まれる場所へ。郡山は、若者や女性、子育て世代が、

「このまちに住みたい」と感じる都市に進化しました。

昼、街の保育園や学校では、地域の医療機関や企業と連携した「学び」と「健康」の活動が行われています。放課後は子どもたちが音楽に親しみ、地域の人々と笑顔を交わします。高齢者も、地域サークルや健康教室で元気に過ごし、災害時にも互いに助け合う安心のネットワークが築かれています。

「**暮らしの充実・笑顔になれるまち**」は、世代を超えて支え合うまちへ。誰もが自分らしく、笑顔で暮らせる郡山の日常が広がっています。



郡山市民の未来の暮らし

郡山市は令和6（2024）年9月1日に市制施行100周年を迎えました。

次の100年を見据え、持続可能なまち郡山の実現を目指すために、多様な世代の市民の皆様とこれからの郡山市の未来を考える「郡山市ネクスト100 未来戦略会議」を開催しました。



田中さんの1週間

#30代男性
#大槻町在住
#果樹園の経営
#オンライン販売促進

月	木	金	週末
休み (週休三日制)	農場ビルで 果物管理	小学生向けの 土いじり 体験会を開催	AI農場の確認・管理 テレビショッピングで 商品販売



アン・リーさんの1年

#20代女性
#田村町在住
#ベトナムからの
職業訓練生
#日本での永住を希望

春	夏	秋・冬
日本語を マスター!	国際交流!	警備 熱海温泉や 鯉料理の 大ファンに!
ハトリさん (ボランティア)から 日本語を習う	ベトナム料理 教室を開催!	ベトナムに 住む家族が 観光で郡山に!



カムイさんの1週間

#40代男性
#市内在住
#スーパーの店長
#農業レストランがしたい

月	火	水	週末
通勤時に 保育園に子を預け、 退勤後はシェフの 資格取得の勉強	農家の 友だち作り	起業に 向けて 準備!	子どもたちを 連れて 収穫体験



たっさんの1年

#60代男性
#日和田町在住
#会社員兼農家
#孫たちと暮らしたい

春	夏	秋	冬
趣味の ゴルフも やる!	スマート 農業!		
会社員の傍ら ボランティアと ともに農業の 準備	無人ドローン で薬品散布	ボランティアと 孫とともに 自動運転の 機械による収穫	畑を 市民に開放 家族旅行



相楽さんの1週間

#20代女性
#開成在住
#会社勤務
#移住者
#車いす生活

平日	休日・朝	休日・昼	休日・夕方
車で通勤 できる!		車いすでも 移動しやすい 道!	
会社に勤務	週2回食料の 買い出し	公園など 市内を周遊	ネットで 市主催の 若者イベントを 見つけて参加



市民の皆さんが考えた「郡山市民の未来の暮らし」。

すべての市民が学び、働き、挑戦し、笑顔で暮らせる環境づくりに向け、市民の皆様とともにまちづくりを進めていきます。



イトウさんの
Uターン前後の生活
#30代~40代男性
#関東在住
#会社員
#Uターン希望
#親が郡山在住

Uターン前
フルフレックスで勤務!
月1回は帰省しているが、親の介護が心配

Uターン後
共働きでも安心できる!
親の近くで住みつつ、地域の方に親の介護を手伝ってもらう

Uターン後
親と子どもと一緒に時間を過ごす間に、夫婦の余暇時間を楽しむ



るるさんの
1週間
#30代女性
#東京都在住
#インフルエンサー
#郡山を発信したい

平日・昼
東京のオフィスビルで働き、ランチは郡山の野菜を食す

平日・夜
郡山と東京の企業をつなぎ、コラボ企画の会議

休日・朝
郡山郊外の古民家カフェめぐり

休日・昼
楽都♪アリーナでアーティストのライブに参戦

休日・夜
はやぶさに乗り、東京へ帰る

郡山の魅力を撮影して発信!



本田さんの
1週間
#30代男性
#中町在住
#エンジニア
#フェス好き

平日・朝
朝食は自動調理機を使って効率化

平日・昼
オンライン通話で保育園の子どもの様子を見る

休日・朝
子どもが小さいためゆっくり起床する

休日・昼
郡山のフェス!
子どもと「LIVE 郡山」へ行く



翔平さんの
1週間
#10代男性
#安積町日出山在住
#大学生
#就活中
#将来は医療関係者

月
高齢者施設で実習

火
高度医療の授業を受ける

金
バンド練習

土
世代間交流!
高齢者向けにスマホの操作を教えるボランティア

日
音楽イベントに参加



田中さんの
1年
#10代男性
#本町在住
#高校1年生
#ドローン部
#進路悩み中

春
好きな場所でオンライン授業を受ける

夏
夏休みに音楽イベントに参加し、他校の学生と仲良くなる

秋
地域貢献!!
ドローン部の活動でまちの防犯に寄与

冬
駅前に有名アーティストが来る





郡山市

～Drive the Beat,Lead the Future～

郡山市第7次総合計画 概要版

～ 東北の鼓動 未来を奏でる 選ばれるまち 郡山 ～

発行年月 令和8（2026）年3月

発行 郡山市

編集 郡山市未来創造課

〒963-8601

福島県郡山市朝日一丁目23番7号

T E L : 024-924-2021

F A X : 024-924-2822

MAIL : miraisouzou@city.koriyama.lg.jp